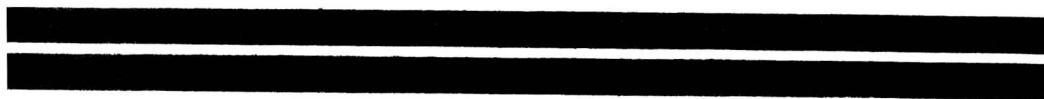


現代世界戯曲集



杉山 誠・倉橋 健・会田由・安堂信也・他 訳

Bertolt Brecht DIE DREIGROSCHENOPER
Copyright © 1955 by Suhrkamp Verlag, Frankfurt am Main
Alle Rechte vorbehalten durch Suhrkamp Verlag, Frankfurt
Martin Walser DER SCHWARZE SCHWAN

© Suhrkamp Verlag, Frankfurt am Main, 1964
Alle Rechte vorbehalten durch Suhrkamp Verlag, Frankfurt
Robert Bolt A MAN FOR ALL SEASONS

Copyright © 1961 by Robert Bolt
All rights whatsoever in the play are strictly reserved and applications for performances
etc. shall be made to : Margaret Ramsay Ltd. 14a Goodwin's Court, St. Martins Lane,
London W. C. 2. England. No performance or use of the play may be made unless a
licence has been obtained prior to rehearsal.

Jack C. Richerdson GALLOWS HUMOR

Copyright © 1961 by Jack C. Richerdson
CAUTION : GALLOWS HUMOR is the sole property of the author and is fully protected
by copyright. It may not be acted by professionals or amateurs without formal permission
and the payment of a royalty. All rights including but not limited to professional,
amateur, stock, radio and television broadcasting, motion picture, recitation, lecturing,
public reading and the rights of translation in foreign languages are reserved. All inquiries
should be addressed to the author's agent HAROLD FREEDMAN BRANDT & BRANDT
DRAMATIC DEPARTMENT Inc. 101 Park Avenue, New York, N. Y. 10017

Japanese translation rights arranged through ORION PRESS, Tokyo

Eugene Ionesco LES CHAISES

© Editions Gallimard, 1954

Jean-Claude Grumberg DEMAÎN, UNE FENETRE SUR RUE...

© Christian Bourgeois Editeur, 1968

Japanese translation rights arranged through the Bureau des Copyrights Français, Tokyo

Joseph Topol HODINA LASKY

© Dilia, Czechoslovak Theatrical and Literary Agency, 1968

Japanese translation rights arranged K. YANO LITERARY AGENCY, Tokyo

© 1969



カラー版 世界文学全集 別巻第2巻

現代世界戯曲集

昭和44年 4月25日 初版印刷

昭和44年 4月30日 初版発行

訳者 杉山 誠 (代表)

装幀者 亀倉雄策

発行者 中島隆之

印刷者 澤村嘉一

印刷 凸版印刷株式会社

発行所 株式会社 河出書房新社

定価 750円

製本・加藤製本株式会社

製函・加藤製函印刷株式会社

本文用紙・三菱製紙株式会社

表紙・日本クロス工業株式会社

東京都千代田区神田小川町3の6

電話 東京 (292) 3711 (大代表)・振替口座 東京 10802

目 次

現代世界戯曲集

三文オペラ		ブレヒト	3
黒いスワン		ヴァルザー	59
すべての季節の男		ボルト	111
絞首台のユーモア		リチャードソン	179
椅子		イヨネスコ	213
明日、通りに面した窓は		グランベール	245
フィルムメーナ・マルトゥラーノ		フィリップ	289
イエルマ		ロルカ	327
逃亡		ブルガコフ	361
一時間の恋		トボル	411
作者の横顔			439
現代世界戯曲年表			443
現代演劇の流れ			469

巻頭口絵

プレヒト「三文オペラ」舞台構図から

本文カラーさし絵

金森 馨

©1969 K. Kanamori

装 幀 亀倉雄策

三文オペラ

ベルトルト・ブレヒト
（協力者 エリザベート・ハウ
プトマン、クルト・ワイル）

杉山 誠訳

人物

マックヒース あだ名メッキイ・メッサー

ジョナサン・ジェレマイア・ビーチャム

《乞食の友》商会主

シーリア・ビーチャム その妻

ボリイ・ビーチャム その娘

ジョーン・ブラウン ロンドンの警視総監

ルシイ その娘

ジェニイ 酒場の女

スミス 警官

キンボール 牧師

フィルチ

大道歌手

泥棒たち

乞食たち

娼婦たち

警官たち

序曲

メッキイ・メッサーの殺人譚詩

(ソホーの年の市。

乞食たちは物乞いし、泥棒たちは盗みをし、娼婦たちは春を売っている。
大道歌手が殺人譚詩を歌っている。)

鯨にゃ、歯がある、

その歯は、顔のなかに。

マックヒースにゃ、ドスがある、
だけどそいつを見た奴はねえ。

ああ、こいつは鯨のひれ

真つ赤だぞ、血が流れ出て！

メッキイ・メッサーは手袋はめてる
そいつにはしみもない。

緑濃きテームズ河の岸边に

ひょっこり死人が倒れてる！

ベストやコレラのせいじゃない、

マックヒースのせいだともつばら噂。

晴れたたのしい日曜日、

岸边に死人が浮きあがる。

誰かが角を曲って行った、

その名はメッキイ・メッサー。

シムル・マイヤーがいなくなる、

それから多くの金持たちも、

その金はメッキイ・メッサーが持っている、

だけど証拠はあがりやせぬ。

(左手から右手へ、ビーチヤムが妻と娘とを連れて舞台を横切って行く。)

ジェニイ・タウラーが見つかった、

胸にヤドスが刺さってた。

波止場をメッキイ・メッサーがぶらぶら歩き、
なんにも知らぬ顔をして。

馬車屋のアルフォンズ・グライトはどこにいる？

いつ明るみに出て来ることか？

知っているのは神様だけさ——
メッキイ・メッサーも知りやせぬ。

それからソホーの大火事騒ぎ、

こどもが七人、年寄りひとり——

野次馬のなかにはメッキイ・メッサー、

誰にも怪しまれずに、知らぬ顔。

それから二十にならぬ寡婦さん、
その名は誰でも知っていた、

ある夜起こされ、犯された――

メッキイ、お前にかかった懸賞金はどれだけだ？

（娼婦たちのあいだに爆笑が起こる。彼らのあいだから一人の男が出て来て、大急ぎで舞台を横切り、出て行く。）

ジェニイ あつ、メッキイ・メッサーだ！

第一幕

1

人々の日増しに増大する無情さを防止するために、商人ジェイ・ビーチャムははじめなものなかも最もはじめものが、頑固この上もない無情な人の心にも触れうるような外観を、手に入れることのできる、一軒の店を開いていた。

（ジョナサン・ジエレマイア・ビーチャムの、乞食たちのための衣裳部屋。）

ビーチャムの朝の聖歌

目をさませ、腐ったキリスト教徒よ！

罪深い生活を推し進めろ！

悪党ぶりを示すがいい

神はそれを嘉すだろう。

兄弟を売れ、悪覚め！
妻を売れ、小悪党！

神様はただの空気がいい？

最後の審判になりゃあ、わかること！

ピーチャム（観客に向かって）何か新しいことが起こらなけりゃなら
ないんですわ。わしの商売はたいへんむずかしい、なぜって、わし
の商売は人間の同情をよび起こすことだからね。人間に感動を与え
るようなものは、ほんの少ししかありやしない、ほんの少ししか
な、ところが、困ったことには、それもとびたび使おうと、効き目が
なくなりますわ。人間てやつは、恐ろしい能力を持ってるもんだ、
自分の好きなように冷淡になる能力を、ね。たとえば、街角に立っ
てる腕のない人間を見ると、はじめてのときは、えらく心を動かさ
れて、十ペニイもやる気になる。ところが、二度目のときは、たっ
たの五ペニイ、三度目には、なんと警察に引き渡す冷淡さだ。精神
的救済ってやつが、それとまったくおんなじだ。（与えるは取るより
辛いなり）と書かれた大きな板が天井から下がって来る）人の心を唆かす
ような板の上に書かれた、信頼させずにはおかないような立派な格
言だって、こんなに早く使い古されてしまふんなら、なんの役に立
つというんです。聖書のなかには、人の心に触れるような格言が四
つも、五つもありますよ。ところが使い古されてしまうと、わけも
なく役に立たなくなってしまうんだ。たとえば、ここにぶらさがっ
てる、「与えよ、さらば与えられん」だ。こいつは三週間きっかり
で、だめになってしまう。いつも新しいものが提供される必要があ
るんですよ。聖書だって、繰り返し差し換えなくちゃならない、
しかも、なんべんもね。

（扉を叩く音がする。ピーチャムが開けると、フィルチという名の若い男
が入って来る。）

フィルチ ピーチャム商会ですか？

ピーチャム ピーチャムだ。

フィルチ あんたが『乞食の友』商会のご主人ですね？ おいら、あ
んたんとこに行けといわれて来たんだ。ああ、あれが格言だね！
あれが元手だね！ あんな格言の入った本が一杯あるんだね？ ほ
んとに、まったく別なこった。おいらたちのようなもんには——考
えもつかねえことだ。教育のねえもんには、商売繁昌というわけに
はいかねえ。

ピーチャム お前さんの名は？

フィルチ ねえ、ピーチャムさん、おいら、ちいさいときから、ずっ
と不幸なんだ。おふくろは飲んだくれで、おやじはばくち打ちだっ
た。子供んときから、自分で養わなきゃならなかったのさ。おふく
ろに可愛がってもらえず、大都会の泥沼んなかに、どんどん深く
沈んでいった。おやじはかまってもくれなかったし、ついぞ家庭の
幸福なんてものも味わったことがねえ。さあ、そこで、おいらを見
てくれ。

ピーチャム 見てるよ、それで、……

フィルチ（あわてて）……何もかもだめになっちゃったんだ、本能の餌
食さ。

ピーチャム 大海の難破船などのように、な。さあ、話してみな、難
破船、どこの地区で、お前さんはそんな童話をほざいてたのかい？
フィルチ なんですって、ピーチャムさん？

ピーチャム そんな演説を人前でやってたのかい？

フィルチ そうですよ。ところが、ピーチャムさん、きのう、ハイラ
ンド街でいやなことがあったってわけですよ。おいらはその街角
に静かにみじめっぽく、手に帽子を持って突っ立っていたのさ、何
も悪いことだなんて知らずにね。……

ピーチャム（ノートブックのページを繰りながら）ハイランド街。うん、
うん、そうか。お前は、きのうホニイとサムとがひっ捉えた、糞野

郎だな。お前は図々しくも、十地区で、通行人にうるさくつきまどつてたそうじゃないか。普通ならたつぷりと打ったり蹴ったりするところなんだが、お前は神様がどこに住んでらっしゃるか知らないんだとわかったんで、やめてやったんだ。だけど、お前が二度と姿を見せるようなことがありや、そのときこそは鋸を使うことになるからな、わかったな？

フィルチ お願ひです。ピーチャムさん。そんならおいらはどうしたらいいんです？ あゝの二人の旦那方はおいらを散々なぐりつけた上に、あんたの商売用の名刺を呉れたんです。おいらが上衣を脱ぎや、あんたはきつと鱈が一匹、目の前にいると思いますよ。

ピーチャム なあ、若いの、お前がひらめのように見えないとすりや、うちのやつらはのんきすぎるといふもんだ。おい、若いの、やって来て、手を差し出しさえすりや、厚い焼肉が手に入るだろうと、思つてゐるんだな。誰かがお前の池から立派な鱈を釣りあげたとしたら、お前はなんというだろうな？

フィルチ でも、ピーチャムさん——おいらには、池なんぞありやしませんよ。

ピーチャム そうさ、許可証は本職のものにしか渡されなんだ。(事務的にロンドンの地図を示して) ロンドンには十四の地区に分かれてゐるんだ。そのなかの一つで乞食商売をしようと思ふものは、誰でもジョナサン・ジェレマイア・ピーチャム商会の許可証が必要なんだ。そうさ、誰だつてやつて来ることができなんだ——本能の餌食つてやつだ。

フィルチ ピーチャムさん、ほんのわずかの金さえありや、おいらは完全な破滅から脱れられるんです。二シリングも持ちや、なんとかなるにちがいないんです。……

ピーチャム 二十シリングだ。

フィルチ ピーチャムさん！(哀願しながら、「貧しき者に汝の耳を閉ざすなかれ」と書いたプラカードを指さす)

(ピーチャムは、「与えよ、さらば与えられん」と書かれた、陳列だなの前にさがつた幕を指さす。)

フィルチ 十シリング。

ピーチャム それに、毎週の貰いの五十パーセント。衣装といっしょに、七十パーセント。

フィルチ お願ひです、その衣装というのはどこにあるんです？

ピーチャム 商会が決めるんだ。

フィルチ そこで、おいらはどの地区で始めたらいいんです？

ピーチャム ベーカー街の二丁目百四番地。そこは貰いが少ないかもしれない。だから、衣装といっしょに五十パーセントでいい。

フィルチ ありがとうございます。(払う。)

ピーチャム お前さんの名は？

フィルチ チャールズ・フィルチ。

ピーチャム よろしい。(叫ぶ) おーい！(ピーチャム夫人が、あらわれる)

フィルチだ。三百十四番。ベーカー街地区。自分で記入するよ。もちろん、すぐにも始めるだろうな、ちようど戴冠式前だし——金をふんだんに儲ける一生のチャンスだ。衣装はC。(蠟人形が五つ立つてゐる陳列だなの前のリンネルの幕を開ける。)

フィルチ なんです、それは？

ピーチャム これはな、人の心を感動させるに最もふさわしい、みじめなもの、五つの基本的なタイプだ。こういうタイプをひと目見ると、人間てやつは、金を呉れてやろうという、不自然な心の状態になるもんだ。衣装Aは、交通発達の犠牲。元氣なびっこ、いつもほがらかで、(彼は自分でやって見せる) いつも気楽で、かたわになった腕で効果をあげるんだ。

衣装Bは、戦争技術の犠牲。しよつちゅうがたがたと震えて、通りがかりの人間をいらいさせ、吐き気を催させるようにする、(自分でやってみせる)そして、勳章を胸に飾るんだ。

扮装Cは、産業躍進の犠牲。痛ましいめくら、すなわち乞食技術のハイ・スクールだ、(フィルチのほうへよろめきながら、自分でやってみせる。フィルチにつき当たった瞬間、フィルチはびっくりして声を立てる。ピーチャムはすぐにやめ、驚いて彼を見つめ、突然吠え立てる)こいつは同情しやがった! お前は金輪際乞食になれやしないぞ、一生涯、な! せいぜい通りがかりの人間になれるだけだ! それじゃあ、扮装Dだ! シーリア、お前また飲んだな! 酔っぱらってるんだな! 百三十六番が着物のことで不平を言ってたぞ。やつらが決して汚い着物を身につけたがらないもんだというのを、なんべん言ったらわかるんだ。百三十六番は真新しい衣裳のために金を払ってるんだ。同情心を掻き立てられるもんは、汚点なんだ、その汚点は、ろうそくのおぶらでアイロンをかけてつくるんだ。考えるだけじゃないんだぞ! なにもかもおれが自分でやらなきゃならないっていうのか! (フィルチに) 服を脱いで、これを着てみな。きちんと着るんだぞ!

フィルチ おいらのものはどうなるんです?

ピーチャム 商会の財産さ。扮装Eは、いい目を見たことのある若者だ。ただし、ゆりかごの歌は歌ってもらえなかった男だ。

フィルチ ああそうか、これをそれに振り向けようってんですね?

じゃあ、なぜおいらにいい目を見たことのあるって扮装にさせちゃくれないんです?

ピーチャム どんな人間だって自分自身のみじめさなんて信じるものじゃないからよ。お前が腹が痛くって、そう言ったとしても、いやな気を起こさせるだけのことさ。これ以上聞くことは何にもありません。さあ、これを着な。

フィルチ 少し汚な過ぎるようだな? (ピーチャムは射抜くように睨む) 済みません、へえ、済みません。

シーリア さあ、早くしなよ。お前さんのズボンをクリスマスまで持つてるわけにはいかないんだからね。

フィルチ (突然、はげしく) おいら、靴は脱ぎたくねえ! 決して脱がねえ。脱ぐくらいなら、やめたほうがいい。貧乏なおふくろのたつた一つの贈りものだ、どんなに落ちぶれたって、脱ぐもんじゃないやねえ。……

シーリア ばかなこというもんじゃないよ。お前さんの足が汚いぐらいいのことは、先刻ご承知なんだからね。

フィルチ どこでおいらの足を洗わせようっていうんだい? 冬のさなかによ!

(ピーチャムのかみさんは彼を衝立のうしろに案内し、それから左手に腰をおろして、着物にろうそくのおぶらを塗ってアイロンをかける始める。)

ピーチャム お前の娘はどこにいるんだい?

シーリア ポリイかい? 二階だよ!

ピーチャム きとうまた、例の男がやって来たんだらう? わしが出かけていると、きまつてやって来やがる!

シーリア そんなに怪しむにはあたらないよ。どうせこの世の中には立派な紳士なんて、いやあしないんだから。あのキャブテンさんはとてもうちのポリイにご執心なんだよ。

ピーチャム そうかい。

シーリア それに、いくらあたしがばかだって、ポリイだってあの人にまんざらじゃないことぐらい、わかっているよ。

ピーチャム シーリア、お前は、まるでわしが百万長者でもあるかのように、娘に勝手放題のことをさせてのかい! 娘はほんとに結婚しようっていうのか? あの情報集めの好きな蛆虫どもが、もしもわたしたちの内輪のことをかぎつけて見る、こんなちっぽけな店なんて、一週間に持ちつはしないぞ、ほんとに。花婿か! 花婿なんてものは、すぐにおれたちを爪にひっかかけまうもんだ! お前の娘は寝床んなかじゃお前よりずっと口が堅いとても、お前は思ってるのか?

シリーア 自分の娘のことをずいぶん結構に言うじゃないか！

ビーチャム 悪党だ。最悪党だ。ふしだらのかたまり以外の何ものでもねえ。

シリーア ふん、お前さんから受けついだんじじゃないのかねえ。

ビーチャム 結婚！ わしの娘はわしにとっちゃ、パンと餓えとの関係のようなものだ。（聖書をめくって）その上、聖書なんかどこかにだっとう書いてあるんだ。結婚とは総じてみだらな行為なり、つてな。娘にそんな結婚なんてさせてたまるもんか。

シリーア ジョナサン、お前さんはほんとにばかだね。

ビーチャム ばかだつて！ それじゃいったい、あの男はなんていう名だ、あの紳士はよ？

シリーア ただキャプテンさんと呼ばれてるだけさ。

ビーチャム そんなら、お前たちは一度もあいつの名を聞いたことがないのか？ そいつは結構なこった！

シリーア わたしたちはそんなにぶしつけじゃないからね、出生証書をお見せ下さいなんていうほど。あの方はとても立派な方で、わたしたち二人をティンテンフィッシュ・ホテルにちょっとしたダンスに誘って下さったくらいなんだよ。

ビーチャム どこへだつて？

シリーア ティンテンフィッシュに、ちよつとしたダンスにさ。

ビーチャム キャプテン？ ティンテンフィッシュ・ホテル？ ふん、ふん、ふん……。

シリーア あの方はいつだつてわたしたち二人にきちんとキッドの手袋をはめて握手なさるのさ。

ビーチャム キッドの手袋！

シリーア そういえば、あの方はいつでも手袋をはめてるよ——真つ白なキッドの手袋をね。

ビーチャム そうかい、白い手袋に象牙の柄のついたステッキ、それにエナメル革の靴にはスバツツをつけて、魅力があつて、それに傷

跡が……。

シリーア 首に。お前さん、どうしてそんなこと知ってるんだい？

（フィルチが衝立のうしろからおずおずと出て来る。）

フィルチ 旦那、どうやったらいいか教えてくれませんかね。おい、いつでも方式通りにやって来たんで、でたらめなことしゃべれないんだ。

シリーア 方式が欲しいんだとき！

ビーチャム お前は方式通りばかりになるってわけかい。夕方の六時に帰って来るんだ、そうしたら必要なことは教えてやるからな。さあ、行って来い！

フィルチ ありがとうございます、旦那、ありがとうございます。（出て行く。）

ビーチャム 五十パーセントだぞ！——ところで、そのキッドの手袋をはめてる紳士ってやつが誰だか、お前に教えてやろうか——そいつはメッキイ・メッサード！

（彼はポリイの寝室に通ずる階段を上って行く。）

シリーア ああ、神様！ メッキイ・メッサード！ 神様！ どうぞ、お助け下さい！——ポリイ！ ポリイはいつたいていなんてことを？

（ビーチャムがゆつくりと戻って来る。）

ビーチャム ポリイ？ ポリイはまだ帰つて来てないぞ。寢床も直してないぞ。

シリーア それじゃ、ポリイはあの羊毛商人といつしよに夕飯に出かけてるんだよ。そうだよきつと、ジョナサン！

ビーチャム ああ、神様、羊毛商人といつしよでございますように！

（ビーチャム夫妻は暮の前に進み出て、歌う。歌のあいだの照明——金色の

光。オルガンに明りが当てられる。上から三つのランプがついた、バーが下がつて来、ぶらさがつてゐる板の上に次のように書かれてゐる。

その代りにの歌

1

ビーチャム

世間じゃみんながうちにいて

寝静まつてゐる、その代りに

慰みごとがほしいのさ

まるで極上の腸詰をいためたような。

シーリア

ソホーの上にはお月さま

「胸のときめき感じてね」、おお、いやな歌、

そうかと思うと、「あなたが行くなら、わたしもいっしょよ、ジ

ョニー！」

恋がつつて、月がまだ盪ちてゆくときには、ね。

2

ビーチャム

世間じゃみんなが

目的持つてゐる、その代りに

慰みごとをやっている

末はもちろん身の破滅。

二人で

ソホーの月はいまどこに

いやな歌、「胸のときめき感じてね」はいまどこに？

「あなたが行くなら、わたしもいっしょよ、ジョニー！」も、い

まどこに？

恋が終わつて、身が破滅したときには、ね。

2

ソホーの真んなか、盗賊メッキイ・メッサーが乞食王の娘ポリイ・ビーチヤムとの婚礼の祝いをする。

(からっぽの厩舎。)

マサイアス (厩舎のなかを照らし、ピストルを示しながら) 誰かいるなら、手をあげろ！

(マックヒースがあらわれ、舞台の前方を歩いて来る。)

マックヒース うん、誰かいるのか？

マサイアス 誰もいませんや！ ゆっくりと婚礼の祝いができるというもんでさあ。

ポリイ (花嫁の衣裳をまといあらわれる) でも、ここは厩舎だわ！

マックヒース ちょっとの間、かいばおけに腰をかけていてくれ、ポリイ。(観客に向かつて) きょう、この厩舎で、私とポリイ・ビーチ

ム嬢との婚礼の式がおこなわれます。彼女は愛のために私のあとを追つて来て、私に一生連れ添おうと約束したのです。

マサイアス ロンドンじゅうの人間が言うこつてしょうね、ビーチ

ム家の一人娘を、家からかどわかすなんて、いままでもあんたがや

つて来たことのなかで、一番危険なことだつて。

マックヒース ビーチャムさんというのは何者だ？

マサイアス あの方は、ロンドンじゅうで一番あわれな人間だつて、

自分で言つてますぜ。

ポリイ でも、こんなところで婚礼の式を挙げようつてお考えじゃないでしやうね？ 普通の厩舎じゃありませんか。こんなところに牧

師さんをお呼びするわけにはいかないわ。それに、牧師さんはわた

私たちの身内じゃないわ。わたしたちの新生活が、よその厩舎^{うまや}に侵入することからはじまるなんて、いけないわ、マック。きょうはわたしたちの生涯のなかで一番美しい日なんですよ。

マックヒース 心配しなくてもいいよ、万事、お前の望むとおりになるよ。それより、足元に気をつけて、石にぶつからないようにしなよ。家財道具もすぐに運ばれて来るからね。

マサイアス 道具がやって来ましたぞ。

(大きな荷車の着いた音がする。やがて、五、六人の男が、じゅうたんや家具や調度を、ひきずりながらやって来る。そして立ちどころに厩舎を、飾り過ぎるほど立派に整った居間に変えてしまう。)

マックヒース がらくたばかりじゃねえか！

(人々はそれぞれの贈りものを左手に置き、花嫁に挨拶し、花婿に報告する。)

ジャコブ おめでとうござえます！ ジンジャー街の十四番地の二階は、人でいっぱいだったんですぜ。そいつらを先ず追い出さなきゃなんなかったんですよ。

ロバート (鋸のロバートというあだ名) おめでとうござえます。ストランドじゃ、巡査のやつ、すつ飛んで来ましたっけ。

マックヒース ど素人め。

エド わつしたちは、できるだけのことを、やったんだけど、ウェストエンドじゃ、とうとう三人がずらかり損っちまってね。おめでとうござえます。

マックヒース ど素人で、不器用なやつばかりだ。

ジンミー 一人の老紳士がひどい目にあったんですぜ。たいしたことじゃないと思いますがね。おめでとうござえます。

マックヒース おれの命令はな、決して血を流しちゃいけないってこととだったんだぞ。血のことを考えると、おれは胸くそが悪くなるん

だ。お前たちは決して商売人にはなれっこねえ！ 野蠻人だ——だ
が決して商売人にはなれっこねえ！

ウォルター (しだれ柳のウォルターというあだ名) おめでとうござえます。奥さん、あのチェンパロは、四十分前には、まだソマーセットシャー伯爵夫人のものだったんですぜ。

ポリイ この家具はいいじゃないですか？

マックヒース 気に入ったかい。ポリイ？

ポリイ (泣いて) 少しばかりの家具のため、たくさんのかわいそうな人たちを！

マックヒース それにしてもなんてひどい家具だ！ がらくたばかりだ！ お前が怒るのも無理ないよ。バラの木のチェンパロにルネッサンス風のソファ。なんてさまだ。テーブルはいいどこにあるんだ？

ウォルター テーブルですって？

(彼らはいばおけに二、三枚の板を渡す。)

ポリイ ああ、マック！ わたし、とても不具合さだわ！ どうぞ、牧師さんが来ませんように！

マサイアス もちろん、来ますよ。ここへ来る道をよく教えてきましてからね。

ウォルター (即製のテーブルを押し出し) テーブルですぜ！

マックヒース (ポリイが泣いているのを見て) 奥さんは気が転倒しちゃったぞ。いったいほかの椅子はどこにあるんだ？ チェンパロがあって、椅子が一つもねえ！ なんてこった。おれが婚礼を祝うことが、なんべんもあるっていうのか？ 黙っていろ、しだれ柳！ いい、いいか、おれがききまたちに頼んだことが、なんべんでもあるっていうのか？ みろ、ききまたちは、おれの奥さんをはじめから不具合にしちまってるんだぞ。

エド いとしいポリイ……。

マックヒース (彼の被っている帽子を叩きおとして) 「いとしいポリイ」だつて! その猫で声といっしょに、きさまの首をはらわたんなかにねじ込んでやるぞ、このげす野郎め。「いとしいポリイ」なんて誰にも言わせやしねえぞ、いいか! それともきさまはこの女と寝たでもないのか?

ポリイ まあ、マック!

エド そんな、滅相もねえ……。

ウォルター 奥さん、まだ、足りねえようでしたら、おれたちまたひとつ走り……。

マックヒース バラの木のチェンバロに椅子は一つもなし。(笑う)花嫁

さんとして、お前まだ何が欲しい?

ポリイ ちよつとひど過ぎるようだわ。

マックヒース 椅子が二つとソファが一つ、そして新郎新婦は地面にすわるんだ!

ポリイ ええ、素敵かもしれないわ、それも!

マックヒース (鋭く) このチェンバロの脚を鋸でひくんだ! さあ! はじめろ!

四人 (チェンバロの脚を鋸でひきながら、歌う。)

ビル・ローゲンとメリイ・サイヤーが

前の水曜日に夫婦になったのさ。

二人で戸籍係の前に立ったとき

やつは花嫁衣裳の出どこを知らなんだ

あの娘もやつの名前を知らなかったとき。

ホーイ、ホーイ!

ウォルター それに、奥さん、終わりなければすべてよしですよ。外

にはまだベンチがあるんですぜ!

マックヒース ところで、紳士諸君、君たちのそのぼろを脱いで、上

品ななりをしてもらえないものかね? これはただの人間の結婚式じゃないんだから。それからポリイ、お前はあの食物かこのこと

気にしてるんじゃないのかい?

ポリイ あれ、婚礼のお料理ですか? あれもみんな盗ったもの?

マックヒース もちろん、そうさ。

ポリイ いま、役人がドアをノックして、ここに入って来たら、あなたどうするか、わたし知りたいもんだわ。

マックヒース お前の夫がそのときどうするか、たっぷり見せてやるよ。

マサイアス そんなことなら、きょうはぜんぜん大丈夫。お巡りはみんなデーヴントリイに行つて、警戒に当たってますよ。金曜日の戴冠式のため、女王さまを迎えに行つてるってわけです。

ポリイ ナイフが二本に、フォークが十四本! 椅子ごとにナイフは一本要るもんだわ。

マックヒース そんなことうまくいかねえものさ! そいつは見習のやる仕事で、立派な男のやる仕事じゃねえ。お前たちはスタイルっていうものをまるで知らねえんだな? チペンデル風のものどルイ十四世風のものとの区別ぐれえできなきやいけねえ。

(一味の者が戻つて来る、彼らはいまやスマートな夜会服を着ている、しかしこれからの場面における彼らの行動は残念ながらそれにふさわしいものではない。)

ウォルター おれたちはほんとのところ最も値打ちのあるものを持つて来ようと思つたんですぜ。あの木口を見て下せえ! あの材料は

飛切り上等品ですぜ。

マサイアス しつ! しつ! 失礼ながら、キャプテン……。

マックヒース ポリイ、こつちへお出で。

(二人は祝いの言葉を受けるポーズを取る。)

マサイアス 失礼ながら、キャプテン、おれたちはお頭の生涯の最良の日に、その生涯の五月の花盛りのときに当たつて、——つまり、

その転換期において、と言っても構わねえでしょう——心からなるお祝いの言葉その他を捧げるものであります。胸くそが悪いぞ、こんな鹿爪らしい挨拶は。そこで、ともかく。(マックヒースの手を握る) 頭をあげろよ、相棒!

マックヒース ありがとう、お前の言葉は嬉しかったぜ、マサイアス。

マサイアス (愛情をこめてマックヒースを抱擁したあとで、ポリイの手を握りながら) ほんとに、こいつは心からの言葉なんだぜ! ねえ、おんぼろの小舟さん、決して頭をさげなさんなよ、いいですかい、(にやにや笑いながら) 頭だけは、彼にもさげさせちゃいけませんぜ。

(みんなの高い笑い声。突然、マックヒースがマサイアスをつかまえて、床に押し倒す。)

マックヒース 黙れ。そんな汚ねえじょうだんはきさまのキッティのためにしまっとけ。あいつはそれにはちょうど似合いのいたずら女だ。

ポリイ マック、およしなさいよ、そんな下品な……。

マサイアス キッティのこといたずら女なんて呼ばねえで下せえ、まるっきり反対だ。(ゆっくりと立ち上がる。)

マックヒース 反対する気か、ほんとに?

マサイアス その上、あの女に汚ねえじょうだんなんか言ったことはねえ。おれはキッティをとても尊敬してるんだ。お前さんには多分わからねえかも知れねえがね。お前さんこそ、そんなじょうだんを言わせるようにしたんだ。お前さんがルシイに言ったことを、あの女がおれにしゃべらねえでも、思ってるんですかい? それからみりや、おれだって結構キッドの手袋をはめた紳士さ。

(マックヒースは彼をにらむ。)

ジャコブ さあ、さあ、結婚式だぜ。(みんなが彼を引っ張る。)

マックヒース 結構な結婚式だな、え、ポリイ? お前が結婚する日

に、自分のまわりにこんな下司なやつらを見ようとはね。だけど、お前の夫がその仲間に見棄てられたなんて、考えることはないんだ。お前はこういうことが知ってるな。

ポリイ とても素晴らしいと思ってるわ。

ロバート ちえっ。誰も見棄てるなんて言ってやしねえじゃねえか。

意見の相違つてやつは、時には起こるもんさ。(マサイアスに) お前のキッティだって、ほかの誰ともおんなじように、立派な女だ。さあ、いまは、お前の贈りものを出す番だ。

一同 そうだ、さあ、出せよ!

マサイアス (怒りながら) あれだ。

ポリイ ああ、結婚の贈りものだわ。なんて親切なんでしょう、銅貨のマサイアスさん。ごらんなさいな、マック、なんてきれいな夜着なんでしょう。

マサイアス 多分これも汚ねえじょうだんなんでしょうね、え、キャプテン?

マックヒース もういいだろう。さあ、お前もあんなことにいつまでもよくよしないで欲しいな、めでたい結婚日なんだから。

ウォルター これはどうだ? チベンデール風だ!

(彼は大きなチベンデール風の置時計の覆いを取る。)

マックヒース ルイ十四世風だ。

ポリイ 素晴らしいわ。わたし、とても幸福だわ、なんて言っているかわからないほど。あんたのご親切はとても突飛だわ。でも、そのための家がないなんて、とても悲しいわ、そうじゃないこと、マック?

マックヒース ねえ、まだ始まりだと思ってくれ。すべて始まりってものは、むずかしいもんなんだ。ありがとう、ウォルター。さあ、そこいらを片づけてくれ。食事だ!

ジャコブ (ほかの者が食事の用意をしてるあいだに) おれはもうろんなん